

令和8年熊本地震災害派遣薬剤師活動報告 No.5

令和8年8月5日

- 【派遣日程】 8月4日（火）～8月7日（金）
- 【報告者】 大石 博美
- 【メンバー】 2班：宮谷英記、江川孝、大石博美
- 【派遣先】 八代トヨオカ地建アリーナ
- 【交通状況】 行き：3号線渋滞状態あり、渋滞は昨日より軽度
Google のナビで線路沿いの裏道を利用すると渋滞を回避できるが離合が困難な場所あり
- 【ライフライン】 電気：○ ガス：△ 水道：○
その他：昨日の状況を維持
- 【活動内容】 6:30 ホテル出発
7:40 派遣先到着、支援開始
9時台 災害処方箋1枚（鎮痛剤）
相談2件（地域の保険診療へのアクセスをサポート）
10:00 避難所の朝ミーティングに参加 江川
避難所・救護所の現状（申し送り）
1. 避難所の設営状況
八代トヨオカ地建アリーナではダブルベッドの搬入が完了し、順次設置を進めている
日本赤十字社から搬入された物資（寝具等）は届いているが、まだすべて展開・配置できていない
住所表示やゾーニングなども未整備であり、物資の配布や環境整備の支援が必要
 2. インフラの状況
水道：下水は使用可能
水は出るが、水質検査が終了していないため飲用は禁止
空調：避難所エリアではエアコンが使用可能
 3. 施設の構造
 4. 感染対策
新たに新型コロナウイルス感染者を1名確認
感染隔離室を準備していたが、本人の希望により自宅へ帰宅

有症状者への検査や必要時の隔離は継続するが、過度に不安視する必要はない

手指衛生など基本的な感染対策を徹底することが重要

5. シャワー利用

一般避難者向けシャワー利用開始

本日から介護が必要な方へのシャワー介助も開始予定

6. 食事提供

数日間、食事の供給が不安定だった

現在は1日3食、約400食体制で供給が開始されつつあるが、まだ課題が残っている

7. 診療体制

地域の医療機関・薬局も徐々に再開しており、軽症者や慢性疾患患者は可能な限りかかりつけ医・薬局への受診を促す段階へ移行している

現在は「急性期の救命中心」から「避難所運営・生活支援・地域医療への移行期」に入っている。活動の重点は、物資整理、生活環境整備、感染対策、シャワー介助、地域医療への橋渡しへと移行している

10 時台 災害処方箋1枚（外用消炎鎮痛剤）

相談1件（地域の保険診療へのアクセスをサポート）

11 時台 災害処方箋3枚（外用消炎鎮痛剤、鎮痛剤）

相談1件（地域の保険診療へのアクセスをサポート）

11:50 地域医療に繋ぐための掲示物を作成し熊本県薬に確認、許可が

得られたため、印刷物2枚をTMATと共有

12:59 相談1件（降圧剤を切らせた患者、血圧上昇サインあり、かか

りつけ医には明日まで繋げないため、本日服用分は災害処方箋で対応が必要と判断し16時のTMAT診察に同行予定）

13:00 八代調整本部会議（八代市保健所）に参加 江川

氷川町の宮崎県薬剤管理モバイルフーマシーは、3～4班のタイミングで撤収予定

八代の福岡県薬剤師会モバイルフーマシーは現状では地域医療のアクセスのサポートを継続する

地域医療に繋ぐための掲示物は八代調整本部の全医療救護班に配布・共有

八代地区の薬局開局状況の共有はDMATも含めて共有を継続、特に8日以降～お盆期間の状況把握のニーズあり

現状は医療以上に施設・在宅での介護ニーズに対するマンパワー不足が問題となっている

14 時台 相談 1 件（地域の保険診療へのアクセスをサポート）

15 時台 相談 3 件（体調の聞き取りを行い、脱水・低 Na 血症等の疑いもあったため OS-1 提供、かかりつけ医に受診勧奨等）

15:20 環境衛生検査

日時：8 月 5 日 15:20

温度：28.7℃

湿度：44.6%

WBGT：24.8

二酸化炭素濃度：640ppm

水道水塩素濃度（トイレ内）0%

PH：7.2

飲料水はペットボトル等使用

管理良好、異常なし

16 時台 災害処方箋 4 枚

17:00 避難所支援者会議

19:00 熊本県薬剤師会災害対策本部会議

19:30 参加

宮崎県薬剤師会の MP は撤収が決定

福岡県薬剤師会 MP 班の活動報告

熊本県薬剤師会災害対策本部の方針の再確認

はくおうⅡ号内での被災者支援と医療提供体制についての共有

本日の災害処方箋対応件数 9 件

相談件数 8 件

相談は主に常用薬が切れたりなくなりそうというもので、地域の医療機関、薬局等にコンタクトを取り、地域医療へのアクセスをサポート

【活動内容】 食料等調達は可能だが、宿舎は多くの支援者が滞在しており、深夜や朝一でもおにぎりなどは数が少ない